

ID: [REDACTED]

[REDACTED] 様

性別 [REDACTED] 生年月日 [REDACTED]

処方箋が出された場合は、治療と処方薬の確認のため薬局窓口では処方箋と一緒にこの説明書をご提示下さい。

【オブジーボ/ヤーボイ療法】

スケジュール: 2剤併用は3週間を1コースの治療として計4サイクル行い、その後オブジーボのみ2週間を1コースの治療として繰り返し行います。
体調や検査値、副作用によってはスケジュールや点滴時間を変更する場合があります。

		今回のサイクル																				次サイクル																					
		4																				5																					
日付		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
点滴	オブジーボ (ニボルマブ)	[注射器アイコン]																				[注射器アイコン]																					
	ヤーボイ (イピリムマブ)	[注射器アイコン]																				[注射器アイコン]																					
副作用	注入反応 (インフュージョンリアクション)	点滴中から点滴終了後24時間以内におこることがあります。さむけ、呼吸困難、嘔吐、発熱、かゆみ、皮疹等の症状がありましたらすぐにお知らせください。																																									
	皮膚障害	発疹、かゆみ、白斑や点ができたり、皮膚の一部が白くなることがあります。口の中や眼などの粘膜がただれたり、発疹が全身に広がるような場合は、すぐに電話連絡の上、ご相談ください。																																									
	倦怠感	治療期間中、倦怠感が起こることがあります。無理をせずに体を休めましょう。激しい倦怠感や黄疸、急なむくみなどを伴う場合には肝臓や腎臓の働きが悪くなっていることが考えられますので、すぐにご連絡ください。																																									
	甲状腺機能障害	治療期間中、甲状腺の機能が低下したり亢進したりすることがあります。定期的に甲状腺機能等の検査を行います。																																									
	下痢	下痢が起こることがあります。水分を十分にとって脱水を防ぎます。整腸剤(ジオフェルミンなど)は腸内環境を整えるため飲んで良いですが、下痢止め(ロペラミドなど)は飲んで根本的に治らず悪化するおそれがありますので、自己判断で服用するのは避けましょう。1日に普段より4回以上の排便があったり、水状の便が出た場合は、大腸が炎症を起こしていることが考えられますので、病院へご連絡ください。																																									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

注意すること

免疫が活性化しすぎること、まれに糖尿病を発症することがあります。受診時は血糖値を検査しますが、早期発見のため、ご自宅でも市販の尿糖試験紙で尿糖をチェックしていただきます。医師の指示に従ってください。

間質性肺炎という肺疾患が現れることがあり、定期的にCT検査を行い異常がないか検査します。

発熱、から咳、息苦しさなどの風邪のような症状が出た場合(間質性肺炎の兆候の可能性)にはすぐに電話連絡の上、ご相談ください。間質性肺炎発現時には早期の治療が肝心です。

その他患者さんによって重い副作用が出る場合があります。急にむくみが強くなった、おしっこが出ない、めまいがする、発熱、腹痛、血便など、とにかく不安を覚えるような強い副作用が出たときにはすぐに連絡をしてください。

詳細については配布されたパンフレットを参照してください。

副作用の出方には個人差があります。また、上の表以外の副作用が出ることもあります。不快な副作用はできるだけ軽くするように支援しますので、辛い症状がある場合には医療スタッフに相談してください。



千葉県がんセンター 薬剤部
 千葉市中央区仁戸名町666-2
 TEL: 043-264-5431